平成２６年度納入高規格救急自動車等一式仕様書　光地区消防組合消防本部

第１章　総則

１　目的

この仕様書は、光地区消防組合消防本部（以下「本部」いう。）が平成２６年度に整備する高規格救急自動車（以下「車両」という。）及び車両に備える救急資器材等（以下「資器材」という。）について必要な事項を定める。

２　概要

（１）車両は、平成２６年度に公表製作された新規製品とし、高規格救急自動車として必要な資器材、取付品及び附属品等を装備すること。

（２）資器材は最新型のものとし、契約後から納入するまでの間にメーカー等によるバージョンアップ等の新開発がなされた場合は、その性能が優れていると認められるものについては、新開発された資器材を納入すること。

（３）本仕様書をよく検討し十分熟知の上契約するものとし、契約後における一切の疑義の全ては、原則として本部の解釈に従い本部の指示を得るものとする。

（４）本部と納入者との協議により、本仕様書に変更が生じたときは、納入者は変更理由書及び必要な図面を付して本部の承認を得ること。

３　適合法令

車両は、次に掲げる法令のほか、関係ある法令、通達に適合するものであって、緊急自動車としての承認が得られるものとすること。

（１）道路運送車両法（昭和２６年6月１日法律第１８５号）

（２）道路運送車両法の保安基準（昭和２６年７月２８日運輸省令第６７号）

（３）救急業務実施基準（昭和３９年3月３日自消甲教発第６号）

（４）薬事法（昭和３５年8月１０日法律第１４５号）

４　提出書類

（１）納入者は、車両の製作前に本部担当者と製作上の細部打ち合わせを行い、次の書類を各２部提出し、本部の承認を得るものとする。

ア　製作工程表

イ　製作概要図

ウ　諸元明細表

エ　艤装図面（収納庫及び収納棚等）

オ　電気配線図（車両関係、艤装関係）

カ　資器材等の室内整備取り付け図

キ　酸素配管図

ク　無線配線図

ケ　その他本部が指示するもの

（２）納入者は、納入に際し次の書類を製本し提出するものとする。

ア　自動車取扱説明書　２部

イ　資器材取扱説明書　２部

ウ　改造自動車等検査結果通知書　１部

エ　製作概要図　２部

カ　標準装備以外の装備取り付け図面　２部

キ　整備要領書　２部

ク　救急用自動車届出確認書　１部

ケ　保証書　１部

5　検査

納入者は、車両の製作進行に伴い、中間検査を必要に応じて行うものとする。

なお、完成検査は、車両納入時に本部が指定する日時・場所において、車両、資器材、附属品等全般について本部員が検収するものとする。また、検査に必用な測定機器等は納入者側で準備するものとする。

6　登録・費用

（1）自動車新規登録の手続き及び費用は、納入者が負担する。

（2）改造または変更部分の検査に要する費用は、納入者が負担する。

（3）自動車賠償保険及び自動車重量税、リサイクル料は発注者が負担する。

7　保証期間

（1）車両及び資器材の保証期間は、納入後１年間とする。また、メーカー等の公表する保証期間中に生じた故障は、納入者の責任において無償で修理等必要な措置を講じること。ただし、事故及び過失によるものはこの限りでない。

（2）設計、製作上の欠陥による故障は、使用期間中にわたり保証をすること。

8　その他

（1）納入者は、納入時に専門的知識を備えた技術員等を派遣し、車両及び積載機器の点検整備、使用方法について十分な説明を行うこと。また、これにかかる費用については納入者が負担すること。

（2）納入に際しては、艤装、積載品、装備品及び車両本体の各部について十分な点検整備を行うと共に使用燃料、バッテリー等は全て満量状態にして納入すること。

（3）車両の納車後に、本部が所有する救急自動車１台の廃車手続き（永久抹消登録）および資器材の廃棄を行うこと。

また、廃車手続き等（車両の解体を含む）および廃棄手続きに関わる詳細については、本部と打ち合わせのうえ決定すること。なお、廃車および廃棄に係る費用は受注者において負担する。

9　納入数量

高規格救急自動車１台及び資器材一式

10　納入場所

光地区消防組合消防本部

11　納入期限

平成２７年2月２７日

第２章　仕様

１　車両形状

（1）形状は、ハイルーフ型とする。

（2）車両構造は常時登録された車両総重量の状態で振動、衝撃等を十分緩衝できる車体とし、あらゆる走行条件に対して安全で、かつ、安定性を有するものであること。

２　主要諸元

この車両の主要諸元は、次に掲げるものとする。

（1）エンジン

ア　使用燃料　　　　ガソリン

イ　総排気量　　　　２,６００cc 以上

ウ　最高出力　　　　１１０ｋｗ／４，８００rpm 以上

（2）駆動方式　　　　４輪駆動方式

（3）変速装置　　　　オートマチック

（4）ステアリング　　パワーステアリング

（5）車両寸法

ア　全長　　　　　　５,７００㎜以内

イ　全幅　　　　　　２,０００㎜以内

ウ　全高　　　　　　２,５５０㎜以内

（6）患者室寸法

ア　室内長　　　　　３,２００㎜ 以上

イ　室内幅　　　　　１,６００㎜ 以上

ウ　室内高　　　　　１,８００㎜ 以上

（7）最小回転半径　　６．５ｍ以内

（8）定員　　　　　　７名以上９人以内

３　艤装留意事項

（1）艤装は、長期の使用に十分耐える堅牢なものであり、取り扱い上の安全性及び操作性を十分に配慮し、維持管理が簡単に行なえ経済的であること。

（2）緩衝装置は、資器材を用いた業務の遂行にあたり十分な性能を有するものとし、あらゆる走行条件に対して安全で、かつ安定性をもたせること。

（3）資器材の機能を損なうことなく、安全かつ確実に積載できるものであり、走行中の振動などに対し、十分な防振防護措置をすること。

（4）無線等に混入する雑音を軽減するためのアース、コンデンサーなどを取付けること。

（5）資器材への電波障害防護措置をすること。

（6）資器材の運用に必要な、十分な電気容量を確保すること。

（7）サイレンは、「救急自動車に備えるサイレンの音色の変更について」（昭和４５年6月１０日消防防第３３７号通知）別紙「救急自動車に備える電子サイレンの概要」に適合するものであること。

（8）十分な冷暖房機能を有すること。

第３章　車体艤装

１　この車両の艤装にあたっては、最新の技術を導入し、堅牢耐久性に富み、操作の簡便性及び救急業務に適した性能が発揮できること。

２　救急業務実施基準（昭和３９年３月３日付自消甲教発第６号）第９条に定める要件に適合するものであること。

３　車体は全有蓋で、密閉式構造のものであること。

４　車内の照明は、傷病者の観察及び救急隊員の業務遂行に支障のない照度を有するものであること。

５　車体後部は、ストレッチャーの搬入が容易に行える構造とすること。

６　ベッド部は、走行中に振動、移動を生じないような構造で、安全確実にストレッチャーを固定積載できる装置を備えていること。

７　積載資器材等の収納及び取付けは、その資器材の性能を損なうことなく、安全かつ確実に積載できるものであること。

８　電装品に使用する配線は、天井及び壁体内等に敷設し、電子機器等に障害を生じないような処理を施すこと。

９　患者室の右または左側に窓ガラスを有する場合は、そのガラスの下部から２／３ 以上を、バックドアの窓ガラスは下部から１／２ 以上を、それぞれ曇りガラス等にして、傷病者のプライバシーに配意したガラスとすること。

10　前面中央部に、直径150mmの消防章を取付けること。

11　前面フォグランプを、左右に取付けること。

12　ヘッドライトは、ディスチャージ等高輝度のものとすること。

13　訓練旗ポールを、車体左側の高い位置に取付けること。

14　サイドフラッシャーランプ（補助方向指示器）を、左右の有効な位置に取付けること。

15　音声式のバックブザー（解除スイッチ付）を設けること。

16　左右に大型サイドミラーを取り付け、助手席側には補助ミラーを取り付けること。

17　左右両側フロントドアに、サイドバイザー（ドアバイザー）を取付けること。

18　ルーフサイドに、屋外作業用の作業灯（ＬＥＤ式）を左右各２箇所取り付けること。

19　後面に、ハイマウントストップランプを設けること。

20　後輪付近（左右）にガード付き路肩灯を取付け、スモールランプと連動させること。

21　後面にバックアイカメラを取り付け、ナビゲーションシステムと連動させること。

22　後部に、滑り止め性能を有する昇降用リヤステップを設けること。

23　後部ドア開放時に後続に注意を促すため、点滅式停止表示灯をバックドアに設けること。

24　赤色警光灯

（１）前面上部ルーフに、大型散光式警光灯（ＬＥＤ式）を取付けること。

（２）後面上部ルーフの左右に、大型散光式警光灯（ＬＥＤ式）を取付けること。

（３）後部ドア上部の左右に、補助点滅灯（ＬＥＤ式）を取付け、スイッチを散光式警光灯と連動させること。

（４）フロントバンパー付近の左右に、補助点滅灯（ＬＥＤ式）を取付け、スイッチを散光式

警光灯と連動させること。

25　車両の有効な位置に、レスキューセット（バール、万能斧、シートベルトカッター、ガラスカッター、ガラスハンマー、活線ボルトクリッパー）を取付けること。

26　塗装関係は次のとおりとする。

（1）車体の塗装は白色とし、錆落とし及び清掃洗浄を完全に行い、上質の塗料で入念に吹き付け仕上げをすること。なお、車体外周に幅１２０mmの赤帯カッティングシートの貼付けを施すこと。

（2）車体には、次の文字を記入し、字体は指示のない限りゴシック体を基本とし、カッティングシートにてバランス良く施工すること。

ア　ルーフ部　「HIKARI F.D.EMS」　濃紺色、中抜きゴシック体

イ　左右及び後面の赤帯内　「光地区消防組合」　白色、丸ゴシック体

ウ　車体前面の赤帯内　「HIKARI F.D.EMS」　白色

エ　車体天井後部（対空標示）　「光救５」　縦７００mm幅、赤色

オ　車体前面及び後面（隊標示）　「光救５」１文字１００mm幅、赤色、丸ゴシック体

※　詳細については、別途指示。

（3）納入後１２ヵ月以内の塗装の部分剥離、亀裂等が生じた場合は再塗装すること。

なお、納入後３年以内にボディー外板の穴あき及び錆が生じた場合、保証修理するものとし、その他詳細については別途協議するものとする。

27　バッテリー・オルタネーター等

（1）バッテリー及びオルタネーターは、本車両の機能を十分発揮できる容量並びに出力とする。

（2）レギュレーターは、オルタネーターに適合した容量とすること。

（3）外部電源

ア　外部電源入力時にエンジンスタートをした場合、ブザー等の警告音を発するとともにエンジンが作動しないような装置を取り付けること。

イ　外部電源入力用コンセントはマグネット式とし、防水対策を施し、車体外部から専用ケーブル（長さ２０m）で接続すること。

ウ　外部電源入力時は、以下に電源供給（資器材充電）できる構造とすること。

（ア）ＤＣ１２Ｖシガーライター型コンセント（資器材等への電力供給）

（イ）ＡＣ１００Ｖコンセント（資器材等への電力供給）

（ウ）室内蛍光灯

（エ）車両バッテリー（全自動電子バッテリー管理器取付け）

28　サイレン

（1）電子サイレンは、音声内蔵型のピーポー音、ウー音の２音で拡声装置付とし、アンプを運転室の操作容易な位置に取付けるとともに、ウー音用スイッチを運転席及び助手席の操作容易な位置に設けること。

なお、音声メッセージの内容は、概ね次のとおりとする。

ア　「交差点に進入します。注意してください。」

イ　「救急車が通ります。道をあけてください。」
ウ　「左へ曲がります。ご注意ください。」
エ　「右へ曲がります。ご注意ください。」
オ　「バックします。ご注意ください。」
カ　「ドクターヘリが着陸します。着陸・離陸の際は、大変危険です。砂などが飛散しますので、窓を閉め飛散物に注意してください。」
※ア、イ、カのスイッチについては、助手席・運転席の操作容易な位置に取り付けること。
※ウ、エについてはウインカー連動とすること。
※オについては「R」レンジへのシフトレバー操作時に連動とすること。
※カについては、ドクターヘリの離着陸に伴う群衆対象広報。

29　無線機関係
（1）消防用無線機の取り付け位置を、運転室内の操作容易な場所に確保すること。
（2）電源コード、同軸ケーブル等の配線をすること。（アナログ式、デジタル式の２系統）
（3）患者室に子機無線装置を設けることができるよう、配線を施すこと。（取付け位置は、要協議。）
（4）配線は、各機器の取り付け位置まで余裕を持って配線し、隠蔽配線とすること。
（5）車外においても無線傍受可能な、外部スピーカーをフロントバンパー内等に取付け、運転室内に切替え（内・外）スイッチを取付けること。
（6）患者室に、ＯＮ･ＯＦＦ切替えスイッチ付の無線スピーカーを取付けること。
（7）無線機本体の取付けは、本部指定の業者が行う。（艤装に必要箇所は、相互協議のこと。）

30　電話関係
（1）進行方向右側の患者室内の壁面に、携帯電話の設置場所を確保すること。
（2）取付ける携帯電話については、本部が準備する。

第４章　車内の艤装・装備

1　運転室
（1）隊員が、運転席から患者室に容易に移動できる構造とすること。
（2）附属機器等の各スイッチ等は、指定のない限り運転室の助手席及び運転席から操作容易な位置に取付け、それぞれのスイッチ、パイロットランプ、コンセント類には名称及びＯＮ･ＯＦＦ等の表示をすること。（取付け位置は、要協議。）
（3）助手席から患者室が確認可能な、インナーミラーを取付けること。（２段式ルームミラーでも可能とする。）
（4）運転室と患者室に、Ａ３サイズ住宅地図等が数冊収納できる書類箱を取付けること。
（5）助手席上部に、角度が自由に変えられるマップランプを取付けること。
（6）「Ｐ」レンジ以外のシフトレバーで運転席ドアを開けたときに、警報音を発する装置を取付けること。
（7）冷暖房装置を設けること。（患者室含む。）
（8）有効な位置に、ＥＴＣ車載器を取付けること。

２　患者室

患者室は救急隊員が救命処置等を実施するうえで支障のない空間を確保し、以下のとおりとすること。

（１）座席を設置し、次によること。

ア　メインストレッチャーの頭部側に、跳ね上げ式の後ろ向き１人掛座席（キャプテンシート）を設置すること。

イ　進行方向左側に、２人以上が座れるハネ上げ式の横向き座席を設置し、下部に収納ボックスを設ける。収納ボックス内には、携帯式酸素ボンベ（２リットル）が固定できる架台を複数設置すること。

ウ　横向き座席下の収納ボックスには、マグネット式ハンドサーチライトを収納し、専用コンセントを設置すること。

エ　横向き座席の運転室側には、背もたれ付きの前向き１人掛席を設けること。

オ　各座席には、シートベルトを取付けること。

（２）患者照射灯及び蛍光灯を設け、照度を確保し、スイッチを取り付けること。

（３）後部ドア内側の上部に、作業灯を設けること。なお、照射方向が自在に変更でき、かつ、点灯、消灯の切替えスイッチを取り付けること。

（４）天井及びスライドドア付近、バックドア付近の有効な位置に、アシストグリップを取付けること。

（５）見やすい位置に、デジタル式電波時計を取付けること。

（６）有効な位置に、手洗い装置及び有蓋汚物処理箱を取付けること。

（７）十分な機能を有する、電圧変換用インバーター（１００Ｖ変換）を取付けること。

（８）コンセント（ＤＣ１２Ｖ、ＡＣ１００Ｖ）は、必要数を各資器材取付け位置付近に設置し、さらに予備コンセント（ＤＣ１２Ｖ、ＡＣ１００Ｖ）を各２口、有効な位置に取付けること。

（９）各種スイッチ操作は、集中操作ができることとし、有効な位置に取付けること。

(10) 床は、平坦で水洗い可能な防水構造とし、薬品等により腐食しにくい材質構造とすること。

(11) 天井の有効な位置に、収納ネットを複数取付けること。

(12) 有効な位置に、ホワイトボード（マグネット使用可能）を取付けること。

(13) 有効な位置に、ペーパータオルホルダーを設置すること。

(14) 有効な位置に、液体消毒ボトル（角形500ml）ホルダーを設置すること。

(15) 有効な位置に、輸液バッグ及び輸液ボトルが２本以上設置可能な輸液ホルダーを取付けること。

(16) 有効な位置に、スクープストレッチャー及びロングバックボードが収納、固定できるスペースを確保すること。

(17) 有効な位置に、資器材収納庫を複数取付け、うち１か所以上は大型資器材収納庫とし構造は次によること。

ア　堅牢かつ走行中の振動等による歪み、隙間及び異音等の発生がないこと。

イ 外面及び内面に危害を生じ、または、収容物への損害を与える恐れのある鋭利な突起物等がないこと。

ウ　各扉及び引出しには、走行中の振動または内容物の移動により開放しない構造とすること。

エ　資器材をベルトで固定する方法を用いる場合は、走行中の振動で縛着が簡単に外れない構造であること。

オ　資器材の出し入れが容易であること。

⑽ 有効な位置に、資器材収納棚を取付けること。

⑽ 酸素吸入器を設置し、次によること。

ア　有効な位置に２連式の加湿流量計を取付け、酸素ボンベからの高圧配管等は壁内に敷設すること。

イ　人工呼吸器やインハレーター等が使用できるよう、カプラー等による酸素取り出し口を２個以上取付けること。

⒇ 酸素ボンベ収納庫を取付け、次によること。

ア　酸素ボンベ（１０リットル）が２本収納できること。

イ　活動に支障のない位置に取付け、バルブ開閉及び残量が患者室から操作、確認（直接、間接を問わない）できること。

(21) 有効な位置に、モニター類のコード等が容易に掛けられるようなフック等を複数取付けること。

(22) 換気装置を設置すること。

(23) 資器材取付架台等は、特に指示のない限り側面等の救急処置に最も適した位置に固定または容易に取り出すことが出来るよう専用金具等で設置し、かつ、走行中の振動等による機器の損傷を生じさせない構造とすること。

(24) 自動車用粉末ＡＢＣ消火器を取り付けること。

３　ストレッチャー積載架台

メインストレッチャー用の積載架台を患者室内に設置し、次の機能を有すること。

（１）空気式の防振架台で、加速度等による振動、揺れを十分吸収できる性能を有すること。

（２）左右スライド機能を有し、スライドは任意の位置で固定でき、後部ドア側からも操作ができること。

（３）収納が容易で、確実に固定でき、かつ容易に解除できること。なお、ストレッチャーが抵触する部分には、プロテクター保護を施すこと。

（４）胸骨圧迫等処置を行うために、架台の防振機能を固定できること。

（５）防振架台には、ヘッドパットを取付けること。

第５章　その他

１　バッテリーの電圧低下を防止する、アイドルアップ装置を設けること。

２　全ての酸素ボンベには、本部の容器所有登録記号である、「Ｑ０５２(ｷｭｰ･ｾﾞﾛ･ｺﾞｳ･ﾆｲ)」を打刻すること。

３　車両には、アースボンディングを施すこと。

４　車両のスライドドアおよびバックドアは、半ドア状態で自動的に閉鎖する装置を備えること。（オートクロージャー等）

第６章　留意事項

納入者は、本部指定の無線機及び資器材等の積載及び取付けについて、それぞれのメーカー等の間で入念な打合わせを行い、救急業務に支障をきたすことのないよう十分留意すること。

また、疑義が生じた場合は、それぞれの疑義に対し本部と打ち合わせ、十分な調整を行うこと。

第７章　取付品及び附属品等

１	車両附属品	別表１
２	車両装備品	別表２
３	実施基準別表第１関係資器材	別表３
４	実施基準別表第２関係資器材	別表４

以上

別表１　車両附属品

No.	品名	数量	規格・内容
1	泥よけ	一式	
2	スタッドレスタイヤ	４本	ホイル付・国産
3	スペアタイヤ	１本	ホイル付・国産
4	ゴムタイヤチェーン	一式	
5	デジタルカメラ	一式	防水性能 JIS/IEC 保護等級８級（IPX8）以上。相当耐荷重 JIS/IEC 保護等級６級（IP6X）以上。1000万画素以上。充電器等附属品。ケース付き。保存メディア（4GB 以上）。
6	拡声用ハンドマイク	１個	大阪サイレン製 TRM-10 または同等品
7	フロアマット	一式	
8	三角停止板	１個	
9	車輪止	一組	ゴム製・ロープ付き
10	整備工具	一式	標準工具
11	ブースターケーブル	一式	100A・5m

※メーカー公表の標準取付品及び附属品は、全て納入すること。ただし、本仕様書で指定しているものと重複するものについては、除くことができる。

別表２　車両装備品

	品名	数量	規格・内容
1	曇りガラス	一式	仕様書[第３章 車体艤装 9]による。
2	消防章	１個	φ150・車両前面中央部
3	ヘッドライト	一式	ディスチャージ等高輝度式
4	フォグランプ	一式	前面左右
5	訓練旗ポール・訓練旗	一式	旗立てはネジ固定式　車体左側 訓練旗は「訓練」「光地区消防」入
6	サイドフラッシャーランプ	一式	左右の有効な位置
7	バックブザー	一式	音声式、解除スイッチ付
8	大型サイドミラー	一式	左右
9	補助ミラー	１個	助手席側
10	サイドバイザー	一式	左右両側フロントドア
11	屋外作業用作業灯	４個	左右ルーフサイド各２個（LED 式） 大阪サイレン製 LI-21 または同等品
12	ハイマウントストップランプ	一式	後面
13	路肩灯	一式	スモールライト連動・ガード付・運転室にメインスイッチ
14	ナビゲーションシステム	一式	後退時バックアイカメラ連動・VICS 機能付き
15	ＥＴＣ車載器	一式	運転室（セットアップ済み）
16	リヤステップ	一式	滑り止め性能付き
17	レスキューセット	一式	バール、万能斧、シートベルトカッター、ガラスカッター、ガラスハンマー、活線ボルトクリッパー
18	赤帯	一式	仕様書[第３章 車体艤装 26]による。
19	車体文字	一式	仕様書[第３章 車体艤装 26]による。
20	外部電源入力装置	一式	マグネット式・ケーブル 20m・警告装置
21	ウー音スイッチ	一式	運転席・助手席　（切替スイッチ式）
22	メッセージスイッチ	一式	運転室
23	消防用無線ケーブル配線	一式	デジタル・アナログ　２系統
24	無線スピーカー	一式	患者室　ON・OFF 切替スイッチ付
25	無線外部スピーカー	一式	運転室内に内・外切替スイッチ
26	アースボンディング	一式	
27	インナーミラー	１個	運転室（2 段式ルームミラー可能）
28	書類箱	各１個	運転室・患者室　（A3 サイズ）
29	マップランプ	１個	
30	ドア開放警報装置	一式	「P」レンジ以外で運転席ドア開放時に警報音
31	冷暖房装置	一式	運転室・患者室
32	ストレッチャー積載架台	一式	患者室内
33	１人掛座席（キャプテンシ	一式	後ろ向き・跳ね上げ式

	ート)		
34	横向き座席	一式	横向き・跳ね上げ式・下部収納庫・運転室側は背もたれシート
35	室内蛍光灯	一式	患者室　（スイッチは患者室）
36	患者照射灯	一式	患者室　（スイッチは患者室）
37	サーチライト	一式	マグネット式ハンド型・DC12V 専用コンセント・コード・バックドア内側収納
38	アシストグリップ	一式	患者室（天井・スライドドア付近・バックドア付近）
39	デジタル式電波時計	1個	患者室
40	手洗い装置	一式	患者室
41	有蓋汚物処理箱	一式	患者室
42	電圧変換用インバーター	一式	患者室・100V 変換
43	コンセント（予備含む）	一式	患者室・DC12V・AC100V
44	収納ネット	一式	患者室・天井に複数
45	ペーパータオルホルダー	1個	患者室
46	液体消毒ボトルホルダー	1個	患者室・角形 500ml
47	輸液ホルダー	一式	患者室
48	資器材収納庫	一式	患者室・複数取付け・1か所以上は大型資器材収納庫
49	資器材収納棚	一式	患者室
50	ホワイトボード	1枚	患者室・マグネット使用可能
51	フック	一式	患者室・コードフック・複数
52	換気装置	一式	患者室
53	携帯式酸素ボンベ架台	一式	患者室・横掛シート下部収納ボックス・複数
54	酸素ボンベ収納庫	一式	患者室・10 リットル用2本
55	資器材取付架台	一式	患者監視装置(容易に脱着可能) 人工呼吸器(容易に脱着可能) 定置式吸引器(容易に脱着可能) ウォール型血圧計(資器材収納庫付き) 携帯式吸引器(容易に脱着可能)
56	アイドルアップ装置	一式	自動式
57	ストレッチャー	一式	○メインストレッチャー FERNO 製モデル 4080-S（格納式 IV ポール、抗菌マットレス、枕、固定ベルト4本）
58	電子サイレン	一式	音声内蔵型（大阪サイレン製 OPS-5101VQ）
59	赤色警光灯・補助点滅灯	一式	○大型散光式警光灯（ＬＥＤ式） 前面上部ルーフ・後面上部ルーフの左右 ○補助点滅灯（ＬＥＤ式） 後部ドア上部左右・フロントバンパー付近左右
60	消火器	1本	自動車用粉末 ABC（薬剤量 1.8Kg）患者室固定
61	全自動電子バッテリー管理器	一式	ずぼら充電器　七宝電子工業 SA-12PX

※メーカー公表の標準取付品及び附属品は、全て納入すること。ただし、本仕様書で指定しているものと重複するものについては、除くことができる。

別表３　実施基準別表第１関係資器材

	品名		数量	規格・内容
1	観察用資器材	①血圧計	１台	ウェルチ･アレン･アネロイドウオール型血圧計（資器材取付架台へ取付け）
			各２枚	血圧カフ（大腿部･成人（大・中・小）・小児（中・小）、乳児、新生児））
			１基	テルモ製 ES-H55
			各１枚	腕用カフ（腕帯 SS・S・M・L・LL）
			１台	ウェルチ・アレン・アネロイド型血圧計（TR-1 型）
			１個	ケース
			各２枚	血圧カフ（大腿部･成人（大・中・小）・小児（中・小）、乳児、新生児））
		②血中酸素飽和度	１基	パルスオキシメータ Model 9590 オニックス Vantage　（青）
		③検眼ライト	２本	瞳孔ゲージ付き（LED 型）
		④心電計（患者監視装置【除細動機能、事後検証機能を有する。】）	１台	レールダル製ハートスタート MRx (Sp02+NIBP+EtC02 モデル)
			一式	ECG 電極ケーブル、3 電極 ECG ケーブル、パッドケーブル、パドルテスター、キャリングケース、AC 電源モジュール、データ解析 PC ソフト
			各２	バッテリー、SP02 プローブ（成人用大・小児・イヤー）、データカード２枚（トレイ含む）、腕用血圧カフ（成人・小児、乳児、新生児）
			50 本	心電図記録紙
			30 袋	除細動パッド
			3000 枚	心電図電極パッド
		⑤体温計	３本	テルモ製　テルモ電子体温計 C206
		⑥聴診器	２本	リットマン（クラシックⅡS.E.・黒）
2	呼吸・循環管理用資器材	①気道確保用資器材	各３本	経鼻エアーウェイ（PORTEX 6mm・7mm）
			一式	経口エアーウェイ（ライフセーバーキット）
		②吸引器一式	１基	定置式吸引器（新鋭工業 WS-1400）
			５本	シリコン吸引チューブ（2m）
			５本	カテーテルアダプター
			10 本	ヤンカーサクションチューブ
			各 50 本	吸引カテーテル（8FR、14FR、18FR）
			１基	携帯式吸引器（レールダル社製 LSU4000）
			一式	ショルダーベルト、サイドポーチ、AC100V ブラケット
			３本	吸引チューブ、フィルターチューブ
			12 個	エアロゾルフィルター
			10 個	フロートボール
			５本	カテーテルアダプター

		③喉頭鏡	二式	ファイバー式喉頭鏡（マッキントッシュ型ブレード（№0～№4）・LED 式ショートハンドル・ケース）
		④酸素吸入器一式	1 個	携帯式酸素減圧弁（スピラクル社製モデル 801J）
			1 個	バッグ（オキシゲンキャリーバッグ 0-100（2ℓ酸素ボンベ用））
			1 個	インハレーター（FERNO 製モデル 301J・アンブ蘇生バッグ マークⅣ用接続アダプタ）
			2 本	携帯式酸素ボンベ（アルミ 2ℓ・「Q052」打刻）
			20 本	鼻カニューレ（成人用）
			各 10 個	酸素吸入用マスク（リザーバー付成人・リザーバー付小児・中濃度成人・中濃度小児）
			2 本	車載式酸素ボンベ アルミ製 10ℓ　（Q052 打刻）
			2 個	車載式酸素減圧弁（ヨークバルブ仕様）2 口型
			一式	患者室加湿流量計（オキシパック型　OX-FDX）・酸素駆動式吸引器（ホース付き）・配管ホース・延長ホース
		⑤自動式人工呼吸器一式	一式	コーケンメディカル ANSWER（ディスポ呼吸回路 36 本、テストバック　(750cc）、ベンチクリップ）
		⑥自動体外式除細動器	一式	レールダル製ハートスタート FR3 Pro（ハードケース、充電器）
			各 2	充電式バッテリー、データカード
		⑦手動式人工呼吸器一式	各 1	アンブ蘇生バッグ マークⅣ（成人用・乳児用、酸素リザーバーバッグ）
			各 3 個	アンブシリコンカフマスク（№0～5）
			各 30 個	エアークッションマスク（クーフェイスマスク）成人大、成人中、成人小、小児、乳児、新生児
			一式	インハレーター（FERNO 製モデル 301J・アンブ蘇生バッグマークⅣ用接続アダプタ）
		⑧マギール鉗子	各 2 本	サイズ(大・小)
3	創傷等保護用資器材	①固定用資器材	各 2 本	梯状副子（ソフトシーネ）前腕用・上腕用・大腿部用・下腿部用
			一式	減圧式固定具（オックスフォードバキュームスプリント）前腕用・上腕用・大腿部用・下腿部用、ポンプ、ホース
			各 5 枚	頸椎固定カラー（レールダル製スティフネックセレクト）成人用・小児用
			2 個	砂のう（3kg）
		②創傷保護用資器材	50 枚	三角巾（スズラン㈱三角巾大ロール状）105cm×105cm×150cm・八折りロール状・個別包装
			50 枚	綿ガーゼ（スズラン㈱ガーゼファーストケア）30cm×100cm・個別包装
			200 枚	不織布ガーゼ(イワツキ㈱ハイディスポクロス)25cm×21cm
			20 枚	滅菌アルミ保湿シート（イワツキ㈱滅菌救急アルミックシート）125cm×125cm（パッケージサイズ：15 cm×15 cm）・個別包装
4	保温・搬送用資器	①雨おおい	一式	レインカバー（FERNO 製）
		②スクープス	一式	FERNO 製モデル 65EXL（ストラップ 3 本・黄）

	材	トレッチャー		ヘッドイモビライザー（FERNO 製モデル 445-S）
		③担架（布担架）	2枚	防水性ターポリン地、ストラップ付き
		④バックボード	一式	FERNO 製モデル 2010・スピードストラップ 3 本） ヘッドイモビライザー（FERNO 製モデル 445）
		⑤保温用毛布	2枚	毛布
5	感染防止・消毒用資器材	①感染防止用資器材	各 200 枚	ディスポーザブル手袋（三興化学工業エクセレントニトリル手袋 NBR600）L・M・S（パウダーフリー）
			200 枚	ディスポーザブルマスク（バイリーンクリエイトサージカルマスク 6200B）
			3個	ゴーグル（メガネタイプ）
			50 枚	N95-マスク（3M VFlex N95 微粒子用マスク 1805）
			100 枚	不織布シューズカバー（青色）
			100 枚	アームカバー（青色）
			2巻	感染防止用シーツ（三興化学工業株式会社　サンコーラミロール）未滅菌・90cm×100m・レーヨン不織布・ストレッチャー用シーツ・ミシン目入り
			2本	血液溶解洗浄剤（チトレール）2ℓ
6	通信用資器材	無線装置	一式	消防救急無線（配線等詳細は仕様書による。） ※本体は、旧車両から載せ替える。
			3台	特定小電力トランシーバー（20 チャンネル（シンプレックス）・防塵・防水性能 JIS/IEC 保護等級 IP55 以上・スピーカーマイク付き）
7	その他の資器材	①懐中電灯	2個	ストリームライト社製ファイヤーバルカン LED(米国防爆モデル標準セット)または同等品
			2個	ストリームライト社製 4AA プロポリマックス米国防爆モデルまたは同等品
		②救急バッグ	1個	ワコー商事ジャンプキットバッグ WJK-1
			1個	ワコー商事ファーストレスポンダーバッグ A-900
		③トリアージタッグ	200 枚	標準型トリアージタッグ（「光地区消防」入り）
		④膿盆	各1個	ステンレス盆（24cm・27cm・30cm）
			2個	受水盆　700ml 目盛付き
		⑤はさみ	各2本	包帯剪刀　18cm・救急剪刀（万能ハサミ）
			1本	レスキューシザー
			一式	救急カッター　S-CUT（小）替刃・ケース
		⑥ピンセット	各1本	無鈎　15cm・有鈎　15cm
		⑦分娩用資器材	1本	臍帯剪刀　16cm
			各 10 枚	パッド（11cm×26cm）・（13cm×33cm）
			5枚	パッド（18cm×45cm）
			10 個	臍帯クリップ
			各2枚	救急タオル　大・小

			適宜	清浄綿・脱脂綿
			5個	新生児用吸引カテーテル
			1個	収納バッグ
		⑧冷却用資器材	20個	瞬間冷却パック
			一式	車載用ポータブル温冷蔵庫（DC・AC100）

※メーカー公表の標準取付品及び附属品は、全て納入すること。ただし、本仕様書で指定しているものと重複するものについては、除くことができる。

別表４　実施基準別表第２関係資器材

	品名		数量	規格・内容
1	観察用資器材	血糖値測定器	一式	アキュチェックコンパクトプラス(黒)本体一式、コントロール液、測定センサー及び穿刺針(100 回実測定分)、専用試験紙、日本語取扱説明書
2	呼吸・循環管理用資器材	①自動式心マッサージ器	一式	フィジオコントロールジャパン LUCAS2（バッテリー・AC 電源アダプタ・12V 車載ケーブル・安定用ストラップ・患者ストラップ・キャリングバック）
			12 個	圧迫部吸着カップ
		②特定行為用資器材	各 20 本	気管挿管チューブ（クリア PVC）7.0㎜・8.0㎜
			20 本	スタイレット（外径 4㎜）
			20 個	トーマスチューブホルダー（小児用）
			各５本	ラリンゲルチューブ（胃管ルーメン付）サイズ３・サイズ４
			各 50 本	留置針（テルモ製シュアシールドサーフローⅡ 18G×1･1/4・20G×1･1/4・22G×1)
			50 枚	ドレッシングテープ（3M テガダーム CHG ドレッシング 1657R)
			40 袋	輸液セット(テルモ製 TI-U355P)
			10 個	留置針廃棄箱(シャープセーフ 0.2ℓ)
			３本	駆血帯(井ノ内式)
3	通信用資器材	携帯電話	一式	ヘッドセット・充電器・車両壁固定架台 ※携帯電話本体については、本部が準備する。
4	救出用資器材	①救命綱	一式	NRS グラブライン レスキューバッグ NFPA（ロープ強度 10㎜（3.282lbs/1488.7kg）・ロープ径 10㎜・長さ 22.5m)
		②救命浮輪	一式	自動膨張式救命浮輪･20m フローティングロープ付き
5	その他の資器材	①汚物入	１個	差し込み式便器・ホーロー製・蓋付き
		②リングカッター	一式	リングカッター（替刃５枚付)
		③その他必要と認められる資器材	３着	防刃ベスト

※メーカー公表の標準取付品及び附属品は、全て納入すること。ただし、本仕様書で指定しているものと重複するものについては、除くことができる。